

— 会 告 —

第24回日本核医学技術学会総会学術大会開催について

学 会 長 小 堺 加智夫
大 会 長 福喜多 博 義
実行委員長 酒 井 良 介

会員各位

第24回日本核医学技術学会総会学術大会は、千葉県千葉市の千葉市文化センターにて下記のとおり開催致します。

現在の核医学技術をさらに追求し、新しい技術を求め創造することにより、これからの核医学の発展があると期待してメインテーマを「融合から創造へ」としました。今大会では実行委員企画として、千葉市共催「市民公開講座（講演および PET 展）」や開催前日に放射性医薬品製造「工場見学」を予定しております。また、第23回大会に引き続き、インターネットによるオンライン演題登録、パソコンによる演題発表を実施致します。さらに、今回は「準会員」のご参加を含めた「学生セクション」を設ける事にしました。多数の演題申し込みと御参加をお願い申し上げます。

詳しくは、実行委員会ホームページ <http://jsnmt24.umin.jp/> をご覧ください。

記

1. 会 期：平成16年7月24日（土）、25日（日）
2. 会 場：千葉市文化センター
千葉市中央区中央2丁目5-1 TEL 043-224-8211
(<http://www.ccf.chp.or.jp/2sisetu/bunka/bunkatop.htm>)
3. 参加登録費：5,000円
4. 懇 親 会：1) 会 場：ホテルサンガーデン千葉
2) 会 費：7,000円
5. 演題申込み：インターネットのみ
〈演題登録方法〉
 - ・学会ホームページ <http://www.jsnmt.umin.ne.jp/> をご利用下さい。郵送による受付は行いませんのでご了承下さい。
 - ・演題登録開始日時 平成16年2月2日（正午）
 - ・演題登録締切日時 平成16年4月1日（正午）〈演題登録の注意事項〉
 - ・予行原稿は演題名・所属・氏名・本文を合わせて、660文字以内です（44文字×15行）。この字数を超えますと登録できません。
 - ・文字数は日本語全角1文字を1文字とします。半角文字は2文字を全角1文

字に換算し計算します。

- JIS 第1, 第2水準に対応した文字を使用して下さい。丸文字, ローマ数字, 半角カタカナ, JIS 規格に対応していない飾り文字は使用できません。
- 上付文字が必要なときは文字の前後を〈SUP〉と〈/SUP〉で囲って下さい。下付文字は文字を〈SUB〉と〈/SUB〉で囲って下さい。使用可能なタグは上記2つのみです。それ以外のタグ, 改行〈BR〉・太文字〈B〉・イタリック〈I〉・アンダーライン〈U〉は使用できません。
- 演題登録後, 受理確認メールが届きます。電子メールアドレスは入力間違いのないよう再度確認をお願いします。なお, 受理確認メールはテキスト形式となります。上付および下付文字は反映されず, タグ (例: 〈SUP〉99m〈/SUP〉) がそのまま表示されます。
- 一度登録されると演題番号が自動的に発行されます。演題登録番号と設定したパスワードにより, 登録期間中は登録内容の確認・修正が可能です。なお, パスワードを忘れた場合の問い合わせには, システム上お答え出来ませんので, 必ず演題登録番号と併せて控えておいて下さい。
- 受理確認メールが届かない場合は, 確認・修正画面にて登録メールアドレスをご確認下さい。間違いがあった場合には訂正後, 更新して下さい。間違いがない場合は, メールにてお問い合わせ下さい。
〈小野寺晋志 onodera-chibakakugi@umin.ac.jp〉
- 演題の採択の是非に関しては, 後日メールにてお知らせいたします。

6. 宿泊に関する問い合わせ:

実行委員会では, 今回宿泊の斡旋は行っておりません。

恐れ入りますが, 各自で手配いただきますようお願い申し上げます。

実行委員会ホームページ <http://jsnmt24.umin.jp/> にて会場周辺宿泊施設のご案内をしておりますので, ご参照下さい。

プログラムの内容

1. 海外招待講演 司会 帝京大学医学部附属市原病院 新尾 泰男
「Honoring the Past and Embracing the Future: An SNM Update」
SNMT 会長 Lyn M. Mehlberg
(St. Luke's Medical Center, Department of Imaging Services)
2. 文化講演 (市民公開) 司会 社会保険 船橋中央病院 酒井 良介
「南極は人類の宝物, そして人類の未来を写すかがみ」
千葉大学環境リモートセンシング研究センター 西尾 文彦
3. 特別講演 I 司会 国立がんセンター中央病院 福喜多博義
「医療改革の中での核医学と核医学技術開発」
シアトルワシントン大学 蓑島 聡

4. 特別講演Ⅱ
司会 船橋市立医療センター 小野寺 敦
「細胞シート工学を基盤とする再生医療」
東京女子医科大学先端生命医科学研究所 岡野 光夫
 5. 市民公開講座 講演 司会 東京慈恵会医科大学附属柏病院 平瀬 清
「核医学検査の中の PET—PET 検診を中心に—」
医療法人社団清志会 西台クリニック 宇野 公一
 6. 教育講演 司会 千葉県循環器病センター 柳沢 正道
「放射性医薬品が付着した固体状医療放射性廃棄物の望まれる管理とは」
千葉県がんセンター 木下富士美
 7. 大会長講演 司会 小堺加智夫 学会長
「核医学技術と私—21世紀に託せるもの—」
国立がんセンター中央病院 福喜多博義
 8. 卒後教育プログラム
 - 1) 基礎講座Ⅰ 司会 千葉県がんセンター 木下富士美
「核医学画像診断機器の現状と今後の展望—性能管理を中心に—」
国際医療福祉大学 熊野 信雄
 - 2) 基礎講座Ⅱ 司会 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 齋藤 京子
「技師のための放射性医薬品—製剤の挙動と体内分布の観点から—」
金沢大学医学部 小野口昌久
 9. ワーキンググループ報告
「核医学画像の定量化・基準化のための調査研究ワーキンググループ」
 10. シンポジウム 座長 九州大学病院 大屋 信義
帝京大学医学部附属市原病院 新尾 泰男
「核医学技術の EBM を考える—医療技術者がどう実践できるか—」
基調講演「EBM とは何か！腫瘍核医学領域での実践を含めて」
九州大学医学部 佐々木雅之
 - 1) 看護領域における EBM の実践(仮題) 東京医科歯科大学大学院 阿部 俊子
 - 2) 放射線治療における EBM 導入への取り組み
—QA 実践の状況, PCS の現状把握— (放射線治療部門での実践)
国立がんセンター東病院 大山 正哉
 - 3) 脳血流 SPECT 定量における EBM の実践
—JET study への取り組み, 実践経験— (核医学部門での現状と問題点)
中村記念病院 高橋 正昭
11. 一般研究発表
 12. 工場見学 日時 平成16年7月23日(金) 13時～18時
詳しくは, Vol. 23, No. 5 にて掲載しておりますので参照ください。
 13. 展示コーナー

14. ランチョンセミナー（協賛：日本メジフィジックス，第一ラジオアイソトープ）

1) ランチョンセミナーⅠ

司会 順天堂大学医学部附属順天堂浦安病院 石川 邦芳

「形態画像と機能画像の融合—CT・PET の有用性とその問題点—」

国立がんセンター東病院 村上 康二

2) ランチョンセミナーⅡ 司会 東京歯科大学市川総合病院 阿内 謙吉

「SPECT/CT の臨床利用—吸収補正と融合画像について（仮題）」

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 森 一晃

15. 市民公開講座 PET 展

班 長 福喜多博義（国立がんセンター中央病院）

副班長 平瀬 清（東京慈恵会医科大学附属柏病院）

高田 稔（社団法人日本アイソトープ協会）

金谷 信一（東京女子医科大学病院）

谷本 克之（千葉大学医学部附属病院）

佐藤 敬（国立がんセンター東病院）

岡村 純子（医療法人社団清志会 西台クリニック）

古山裕一郎（医療法人社団翠明会 山王病院）

第24回日本核医学技術学会総会学術大会プログラム委員会

委 員 長：福喜多博義（国立がんセンター中央病院）

副委員長：新尾 泰男（帝京大学医学部附属市原病院）

酒井 良介（社会保険船橋中央病院）

柳沢 正道（千葉県循環器病センター）

木川 隆司（千葉大学医学部附属病院）

金谷 信一（東京女子医科大学病院）

野村 悦司（財団法人癌研究会附属病院）

奥野 光男（日本大学医学部附属練馬光が丘病院）

小山昌二郎（東京大学医学部附属病院）

森 一晃（国家公務員共済組合連合会虎の門病院）

村上 剛（東海大学医学部附属大磯病院）

渡辺 浩（横浜労災病院）

山本 智朗（昭和大学藤が丘病院）

石橋 章彦（国立国際医療センター）

伊勢谷 修（埼玉医科大学附属病院）

荒井 孝（埼玉県立小児医療センター）

埴 升（東京医科大学霞ヶ浦病院）